

【シルバー活動センター編】

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	シルバー活動センター（管理棟）			
-----	-----------------	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	55
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	高齢者支援課
------	--------


1 土地データ

所在地 (地区)	共栄町3丁目12番地1 (東部)	敷地面積	2,486 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成11年度
建物構造	RC	延床面積	721 m ²	経過年数	19年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	288,400千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	4,910円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態					
	12,344人	10,573人	人	11,459人	指定管理者					
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)			
	収 入	利用料等		804	支 出	①施設維持コスト	修繕料	353		
		国 費		-		火災保険料	-			
		道 費		-		維持管理委託料	8,586			
		その他		119		敷地借上料	-			
		市費(一般財源)		8,199		工事請負費	-			
	合 計			9,122	その他維持費	183	小 計		9,122	
					②施設運営コスト	人件費	-	小 計		-
					光熱水費	-	合 計(①+②)		9,122	
					運営委託料	-	コスト		その他運営費	-
コスト計算		平均利用者数1人当たり	市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり					
単位コスト		796円/人	155円/人		12,652円/m ²					

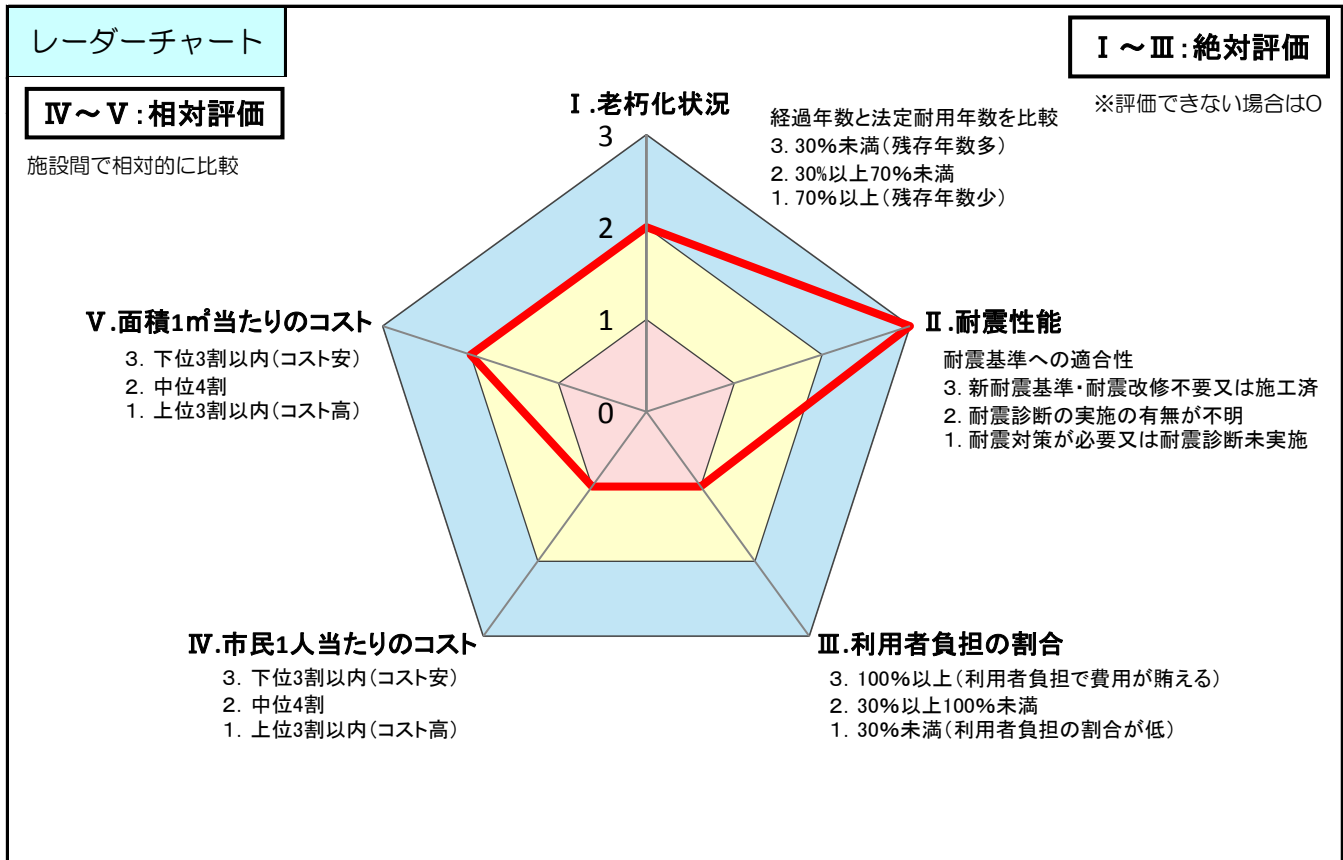
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H25	小便器取替修繕	349			
H25	加圧給水ポンプユニットNO1.2ポンプ取替修繕	289			
H28	研修室非常口修繕	43			
H28	交流活動室照明器具取替修繕	1,198			
H29	暖房系統配管漏水修繕、機械室内直暖系統補給水減圧弁及び安全弁取替修繕	353			

5 特記事項

維持管理委託料は作業棟も含め管理棟に全額入力

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>38 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>9 (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>155 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>12,652 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担の割合は低い(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	シルバー活動センター（作業棟）				
-----	-----------------	--	--	--	--

大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	施設番号	56
-----	---------	-----	------	------	----

所管部課	高齢者支援課
------	--------

1 土地データ

所在地 (地区)	共栄町3丁目12番地1 (東部)	敷地面積	1,768 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成11年度
建物構造	S	延床面積	793 m ²	経過年数	19年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	317,200千円	法定耐用年数	38年	市民1人当たり更新コスト	5,400円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	指定管理者			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳			
	内 訳		金額(千円)		金額(千円)			
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-		-		火災保険料	-
		道費	-		-		維持管理委託料	-
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	-		-		工事請負費	-
	合 計		-		-	その他維持費	-	
						小 計	-	
						②施設運営コスト	人件費	-
				光熱水費	-			
				運営委託料	-			
				その他運営費	-			
				小 計	-			
				合 計(①+②)	-			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人		円/人		円/m ²			



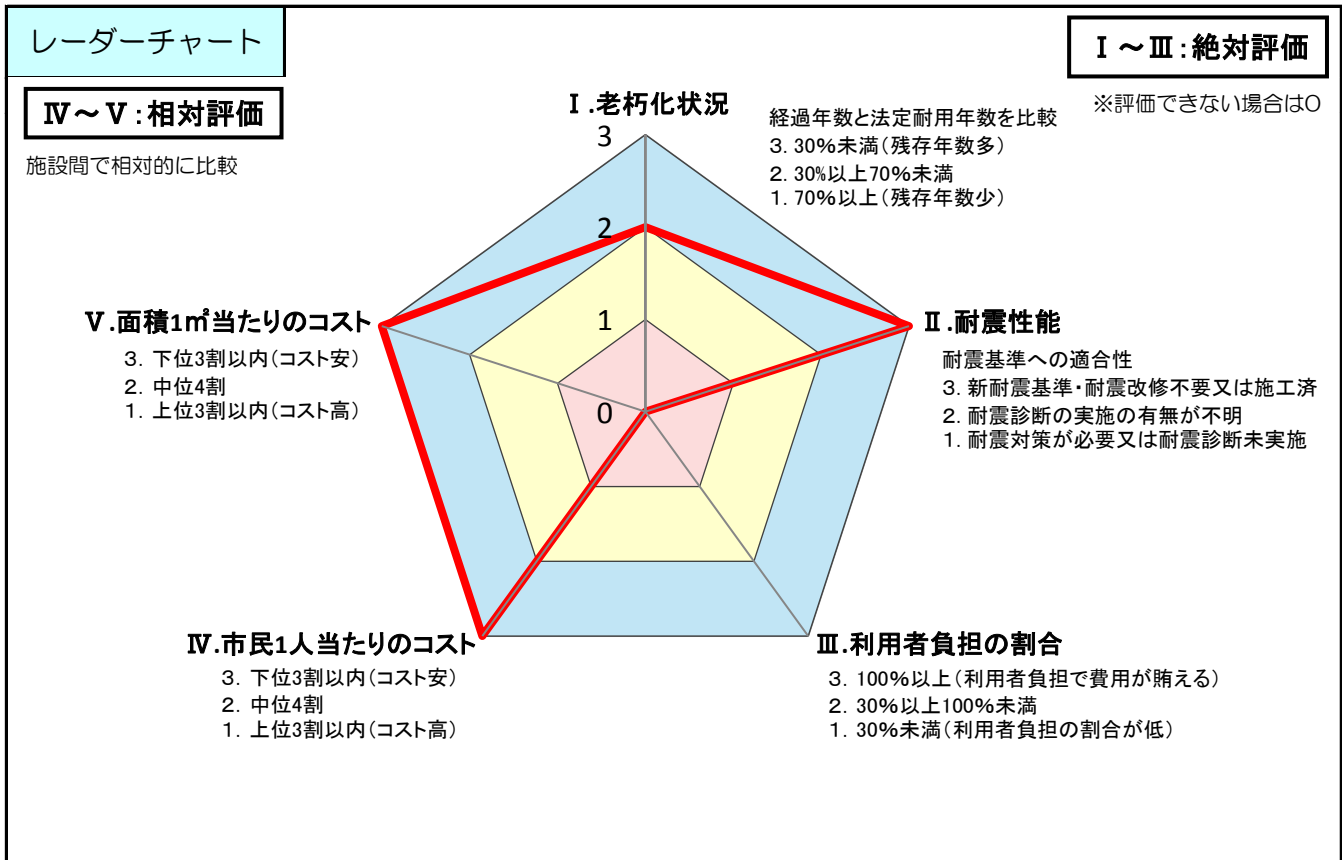
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H28	屋根コーキング修繕	10			

5 特記事項

維持管理委託料は作業棟も含め管理棟に全額入力

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)</p> <p>数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	50 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示</p> <p>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト)</p> <p>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口</p> <p>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	(円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積</p> <p>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	(円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から対策の検討時期と判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは低い(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	